

本屋×カフェ

今回も図書館学生サポーターが
本屋とカフェが併設されているお店を取材してきました!



スタンダードブックストア @心斎橋

町に居心地の良い空間を提供することをコンセプトに、マニア向けのお店ではなく、子どもから大人まで気軽に入れるお店を目指しています。ぶらりと立ち寄った人が「こんな本、雑貨があったんだ!」という、思いやらない新しい発見をしてほしいという願いを持っています。



梅田のすぐ近くながらレトロな町並みの中崎町にある珈琲舎・書肆/Luft アラビクは、店主の森内さんが好きな古本と珈琲を融合させ、7年前はまだ珍しかった喫茶と書店、ギャラリーを併設したお店です。文芸書をメインに画集や美術雑誌、金子国義や山本じん、建石修志といった一流作家の絵画や人形などを扱っています。

大阪市北区中崎3-2-14 Tel/Fax 06-7500-5519
営業時間 13:30~21:00(日祝~20:00) 火曜不定休・水曜定休

(取材・記事:経済学部3回生 松本香織)

大阪市中央区西心斎橋2-2-12 クリスタグランドビル1F・BF
Tel.06-6484-2239 営業時間 11:00am-10:30pm



店内はカフェ、本・雑貨の2フロアに分かれており、アメリカ村に近いので、海外から仕入れている雑貨もあります。また、年に120本ものトークショーやサイン会などを開催しており、芸人のキングコング西野亮廣さんが絵本作家としてイベントに来られたこともあります。(取材・記事:経済学部2回生 青木舞)

珈琲舎・書肆 Luft アラビク

古書には署名本・絶版本もあり、新刊の本も置いてあります。有名・無名を問わず店主おススメの小説家、画家のサイン会、読書会、ワークショップも開催しており、幅広い年齢層の、多くの人に来てほしいと願っています。ぜひ皆さんもコーヒーを愉しみながら本を味わって下さい!



図書館の施設案内

ひかりにわ

光庭

図書館には「光庭」と呼ばれる中庭のようなスペースがあります。吹き抜けなので図書館の中にながらにして外の空気が味わえる場所です。今年の4月からは飲食と携帯電話の使用が可能となりました。爽やかな風を感じながらランチをすることもできます!ただしゴミはゴミ箱に捨ててネ。

ビブリオバトル、とっても面白いのでぜひ参加!してみてください!

経営学部3回生 池田美咲

サポーターとなり初めて図書館報編集に携わりましたが、取材に行ったり経済小説を紹介したりと、とても充実していました!楽しんでいただければ幸いです。

経済学部3回生 松本香織

チャンピにインタビューするという初めての試みを体験できて楽しかったです。たくさんの方に記事を読んでいただき、ビブリオバトルに興味を持っていただければ幸いです。

経済学部3回生 農口米太

再び図書館報に携わらせていただき、光栄です。今回のビブリオバトルは、ハイレベルで、とても見ごたえがありました。次回は、秋頃に開催予定です。ぜひ、見に来て下さいね!

情報社会学部3回生 S.N.

初めて図書館サポーターを務めさせていただき、有意義な時間を過ごすことができました。ビブリオバトルの運営、本の紹介原稿、カフェ取材とどれも初めてのことばかりでしたが、いい経験になりました。引き続き、秋学期もサポーターとして頑張りたいです。

経済学部2回生 青木舞

今回は初めての参加でしたが、この冊子が少しでもみなさんのお役に立てば嬉しいです!

経営学部1回生 山本奈美

人に向けて文章を書くことが初めての経験だったので、不慣れなこともありましたが、良い経験になりました。これを機会にみなさんにぜひ本を読んでほしいです。

経済学部1回生 W.O.

初めて図書館報の作成に参加してもらいました。これからもサポーターとして頑張っていきたいです。

経済学部1回生 北村江里奈

編集後記

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS LIBRARY

としよがら

90
2014.10.1

大阪経済大学図書館報



藤田朋子さん 経済学部4年生

ビブリオバトルの
インタビューはP4へ!



第2回うーぽん大賞

大阪経済大学図書館

2014年10月1日発行

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2丁目2-8 Tel.06-6328-2431(代表)
http://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/ 携帯サイト http://osirabe.net/opac.osaka-ue/



読書の秋!小説を読みながら勉強もしよう

経済小説紹介



請求番号: 913.6/Iwa

S.Nさんのオススメ!

もし高校野球の女子マネージャーが
ドラッカーの『マネジメント』を読んだら
／岩崎夏海 著

タイトルのとおり、ドラッカーの著書『マネジメント』を核に、野球部のマネージャーが奮闘する話である。マネジメントについてとても分かりやすく書かれている。さらに、本から得た知識を具体的に現実
に活かしていく方法についても学ぶことができる。
この本を読めば、マネジメントについてだけでなく、
様々な本の活かし方に気づくことができるはずだ。



請求番号:
913.6/Kum

W.Oさんのオススメ!

ピコラエヴィッチ紙幣 日本人が発行した
ルーブル札の謎／熊谷敬太郎 著

1920年に実際に起きた尼港事件と実際に発行された島田商会札(ピコラエヴィッチ)を元にしたフィクション作品。
1919年冬、ロシアの小都市、尼港に一人の印刷工、黒川収蔵が降り立つ。彼は即ロシアに広まり始めた日本人が発行した紙幣「ピコラエヴィッチ」の増刷にやってきたのだ。依頼元の「島田商会」のメンバーや現地の人々と交流を深める中、日本軍民約750名が亡くなった尼港事件に巻き込まれていく…。一人辺境の地ロシアに飛ばされた黒川の気持ちや周りの人々の感情を、ロシアの自然と合わせて丁寧に描写しながら、尼港事件の激しさも同時に描いた作品。ゆっくりと読書を楽しみたい方にオススメの一冊です。



請求番号:
913.6/May/1~2

松本香織さんのオススメ!

ハゲタカ／真山仁 著

ドラマにもなった「ハゲタカ」、ご存じの方も多いのではないのでしょうか?投資ファンドと銀行を中心に、日本政府を巻き込んだ不良債権回収やM&A、企業再生の社会劇が繰り広げられていく話です。元新聞記者の作者が取材を重ねて書かれた作品なのでとてもリアルで引き込まれます。読後は金融について詳しくなっている自分に気づきますよ。ページ数は多いですが読みやすいので、普段小説を読まない人にも読んでほしいです!

専門書で経済・金融・組織等の知識を得るのはまた
違い、同時にエンターテイメントも楽しめます。読書を通じて社会を考えてみては?



請求番号:
913.6/Yam/2

池田美咲さんのオススメ!

女子大生会計士の事件簿／山田真哉 著

現役女子大生にしてベテラン公認会計士の藤原萌実、28歳にして公認会計士(士補)1年生の柿本一麻ことカッキー。「粉飾決済」や「手形」、「企業買収」を悪用する企業に凸凹コンビが立ち向かう!二人の痛快なやりとりで物語が進む中、簿記の基礎から決算書の読み方まで丁寧に説明してくれています。簿記初心者の方にもぜひ!



請求番号: 913.6/Tak

青木麗さんのオススメ!

風をつかまえて／高嶋哲夫 著

元日本原子力研究所研究員の作者が描く本書は、元暴走族の主人公と父親、姉を中心に倒産寸前の鉄工所で発電用の風車を作るという壮大なお話です。風車と聞くと、風を受けながら発電するだけの自然エネルギーしか思い浮かばず、一見堅そうなイメージかもしれませんが、主人公の家族、友人とぶつかりながらも協力して風車を作っていく、人情味のあふれたお話ですよ。



請求番号: 913.6/Mat

川口美奈恵さんのオススメ!

ミッキーマウスの憂鬱／松岡圭祐 著

誰もが憧れるあの巨大テーマパークで働くことが決まった、21歳のひとりの若者。ミッキーマウスに「中の人」なんてない!それが夢の国の掟。しかし、彼に任された仕事は、着ぐるみを着せる仕事だった…。それは彼にとって大きな矛盾。ミッキーが着ぐるみだなんて子どもだって知っている。でも誰もそれを言わない、言ってはいけない。彼が見た夢の世界の裏側とは…?



請求番号: 913.6/Kat

北村:工里奈さんのオススメ!

県庁の星／桂望実 著

県庁のエリート職員がスーパーに1年間研修!?仕事についてのマニュアルがなく、価値観も違う。人の気持ちに鈍感な「県庁さん」がスーパーでの仕事を通して人の心を学び、成長していく話です。読みやすい本なので、本が苦手な方も是非読んでみてください。



請求番号: 913.6/Ar

山本奈美さんのオススメ!

フリーター、家を買う。／有川浩 著

母の心の病をきっかけに、自己中心的で忍耐力のなかったフリーターの主人公とその家族が徐々に成長していく物語。前半は主人公や父親のダメっぷりがみられるが、後半になるにつれ主人公はアルバイトや仕事探しを通して人が変わったように色々な人に対して思いやりを持ち、口調も考え方もくらべものにならないくらい成長する。これが本来の主人公の姿である気がした。
すこし分厚めの本だがとても読みやすかつという間に読むことができた。最後はスッキリ読み終われるので、息抜きにおすすめの一冊である。

経済小説関連資格テキスト紹介



『サクッとわかる日商1級商業簿記・会計学テキスト: 21days』／福島三千代 著

公認会計士・税理士になるためには日商簿記1級が必須!この「サクッとわかる」シリーズは、難しい1級も図解でわかりやすく説明してくれています。会計士や税理士を目指してなくても、日商簿記1級所持者はどんな企業でも求められます。就活を何十歩もリードできる資格です。苦勞する分、見返りも大きいですよ!



『「公務員試験」スーパートレーニングplus政治学: 要点整理+問題集: 国家一般職・地方上級・国税対応』／TAC公務員試験対策チーム編

基本を学び過去問で実践していきます。教養科目と専門科目に分かれているので、自分が苦手としている所から攻め、弱点をなくしていきますよ。



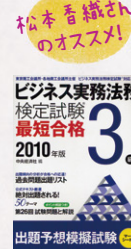
『国際会計検定BATIC(バティック)subject2 公式テキスト: 国際会計理論』／東京商工会議所編

BATICは国際会計基準IFRSおよび米国会計基準に基づいた英文会計の検定です。日本と海外、両方の会計ルールに精通した人材の育成を目的としています。英語がある程度得意で、グローバルな仕事をしたいという人、この検定でグローバル人材であることを証明してみませんか?



『地方公務員試験早わかりブック: 都道府県・政令指定都市・東京23区』／資格試験研究会編

実際に出題された問題を研究し、特徴や解説がまとめられています。要点を絞っているので、わかりやすいです。



『ビジネス実務法務検定試験3級最短合格: ビジネス法務特別版』／中央経済社編
『やさしく学ぶビジネス実務法務検定試験2級: 合格テキスト&練習問題』／実用法務研究会編

『ハゲタカ』を読んだ人や、金融系の仕事に興味のある人には「ビジネス実務法務検定試験」をお勧めします。3級は、会社の法務部門に限らず、ビジネスパーソンとして持っておくべき法律の基礎知識なので、法律の知識で自分を守るようになります。図書館には「ビジネス実務法務検定試験3級最短合格」、「やさしく学ぶビジネス実務法務検定試験2級」など他にもテキストがありますので、ぜひ手に取ってください!



スタッフのオススメ!

ビブリアバトル

第6回ビブリアバトルは
2014年6月27日(金)
12:50~14:20 D館1Fで
開催されました。



ビブリアバトルとは?

- 1 発表者(バトル)が
他の人にすすみたい本を持って集まる
- 2 順番に1人5分間で本を紹介する
+
2~3分のディスカッションタイム
- 3 最終に「どの本が一番読みたくなったか」を
観客が投票で決める

Interview

今回は図書館学生サポーターの農口栄太さんが、チャンプとなった経営学部4回生嘉数啓さんにインタビューをし、ビブリアバトルについて熱く語っていただきました。



農口 さっそくですが、嘉数さんは今回のビブリアバトルが初出場とのことですが、ビブリアバトルに出ようと思ったきっかけを教えてください。

嘉数 きっかけは図書館内に貼られているポスターです。ポスターを見て、ビブリアバトルの存在を知り、出場しようと思いました。また、私は現在4回生なので、大学時代の思い出になればいいなとも思いました。

農口 なるほど。チャンプになったことで最高の思い出づくりができたね!初出場のビブリアバトルはどうでしたか?感想を教えてください。

嘉数 やはり緊張はしました。しかし、人前で話すのが好きだということもあり、発表はすごく楽しめました。大学生活では、人前で話す機会が意外とないですね。好きな本について人前で話せるビブリアバトルは、非常に貴重な体験だと思いました。また、チャンプになったこともあり、発表後の達成感はずこかったです。

農口 私も今回のビブリアバトルに参加したのですが、チャンプでない私でさえ、とてつもない達成感を感じました。ビブリアバトルに参加する直前はずっと「なんで参加したんやろ…。準備も大変やし緊張するし…」というネガティブな気持ちに襲われるんですけど、発表が始まってからは、例外なく楽しいし、終わった後にも満足感が得られるんですよね。

Interviewer



経済学部3回生
農口栄太さん

嘉数 まさにそのとおりです。また、私はビブリアバトルに参加することで、大経大のキャッチコピーでもある、「つながる力」を養うことができると考えています。今回こうしてインタビューを受けていることも「つながり」ですし、本を紹介

して、発表を聞いてくれた人々に本を読んでもらうことも「つながり」だと思います。私が他のバトルで紹介した本を読むことも「つながり」ですし。

農口 そうですね。つながりは大学生生活の思い出にもなりますね。それでは最後に、未来のバトルーに一言お願いします。

嘉数 ビブリアバトルはまだまだマイナーなイベントであるため、ビブリアバトルについて関心を示さない人がほとんど、というのが現状だと思います。しかしながら、ビブリアバトルに興味があるものの、参加を躊躇している人が一定数いることも事実だと思います。参加を躊躇している人はビブリアバトルのことを深く考えすぎだと思うのです。ビブリアバトルは、エントリーすれば誰でも参加できます。敷居の高いものではありません。その割に、得られるものはたくさんあります。ビブリアバトルに興味がある人は、迷わずに一度参加してみるべきです。また、私は本を読むことは、大学生にとって「仕事」だと考えています。本を読むことでさまざまなことに出会えますし、人との「つながり」が生まれるからです。したがって、普段本を読まない人は本を読むべきです。そうすれば、おのずとビブリアバトルに興味を持つと思います。興味を持ったなら、気楽にビブリアバトルに参加するべきだと思います。



経営学部4回生
嘉数啓さん

農口 ありがとうございました。